

じどう
児童だより

いっぽん玉

し
や



No.428
2020ねん
10がつう

にしのみやしりつとしょかん



えんぴつ、消しゴム、ノートにボールペン…。みんながおうちや学校で、毎日使っている
みちかな文房具の本を紹介するよ。

『知ってハナダカ！ 文房具のひみつ箱』

スタジオ248／編
六耀社 [58]

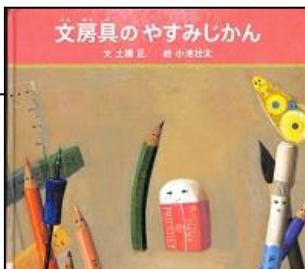
ものさしと定規のちがいってな
に？日本で初めてえんぴつを使つ
た有名人はだれ？みんなは文房具
のこと、どれだけ知っているかな？



『文房具のやすみじかん』

土橋正／文 小池壯太／絵
福音館書店 [E3コイ]

まもるくんが外で遊んでいる間、文房具たちはノートに
こっそり落書きをしていた。まもるくんが帰ってくる前に
いそいで消さなくちゃ。色えんぴつやボールペンはどうし
たら消えるのかな？



『ふではばこから空』

北川チハル／作 よしざわけいこ／絵
文研出版 [931キタ]

となりのせきのしろうくんは、ふではこを
もっているのにつかない。しろうくんの
ふではこは、木である木で、ほながいへん
なはこ。それをたいじにもっている。ゆい
は、そのはこがきになつて…。

『けしこむのゴムタとゴムゾー』

かとうまふみ／作 BL出版 [E3カト]

けしこむのゴムタはすのがだいすき。あたまがよごれてもきにしない。あ
たらしくやってきたゴムゾーは、あたまがよごれるのかいやだから、えんぴつ
にたのまれても、ぜつたいけない。



あたらしい



「あれ、きょうりゅうしんかんせん」

片平直樹／作 山口マオ／絵 交通新聞社

E 3 ヤマ

おれはティラノサウルス。いつものよう
に、よるのさんぽをしていたら、シクシク
ないでいるしんかんせんとでくわした。な
やみをきいていると、「ねがいをかなえてや
ろう」っておつきさまがいった。

「ねがい? なにそれ?
きがつくと、しんかんせん
とがったいして…。



「こんにちは! わたしのえ」

はたこうしろう／作 ほるぷ出版

E 3 ハタ

まっしろいかみのまんなかに、おも
いきってふでをぐっちょん! とおい
て、ずういいいいいと線をひいたら、
あっという間にうまれてきたのはギザ
ギザのいきもの。ふでをぐるぐる、
てんてん、ぽたぽたと
うご動かすと、いろがどん
どんうまれてきたよ。



「せんそうがやってきた日」

ニコラ・デイビス／作 レベッカ・コップ／絵

長友恵子／訳 鈴木出版 E 4 コツ

せんそうがやってきた日。おかあ
さんはわたしの鼻にキスして学校
までおくってくれた。ランチのあと、けむりと火と大きな音にのみこ
まれ、家があった場所はくろいあな
になった。わたしはせんそうをおい
はらいたくて、まだ
せんそうがきていない
ところへいこうとした。



「4さいのこどもって、なにがすき?」

ウィリアム・コール／さく トミー・ウンゲラー／え

こみやゆう／やく 好学社 E 4 ウン

4さいのこどもって、なにがすき?
かけっこ、ジュース、シーソーあそび、
えほんもおもちゃもすき! ボビーと
アンとエディとネルはぜんいん4さ
い。いまどんなことがすきなのか、お
しえにきてくれた。
その4にんがいち
ばんすきなことは?



本のコーナー



うた にんぎょ 「歌がにがてな人魚」

ルイス・スロボドキン／作 小宮由／訳
瑞雲舎 932スロ

にんぎょ くに がっこ
人魚の国の学校、ブルー・ロック・スクール。せいとたちは、およぎやダンス、かていかなどを学んでいる。中でもたいせつなのは歌のじゅぎょう。赤いかみの人魚シンシアは歌が好きなのに、みんなといっしょにはうたえない。
ある日、じけんがおこり…。



まほう 「タミーと魔法のことば」

野田道子／作 クボ桂汰／絵 小峰書店
931ノタ

タミーは9歳になったお祝いに、古道具屋で見かけたまっ赤なトランクを買ってもらった。このトランクは人気マジシャンのジャック・谷川が使っていたものらしい。ある日、トランクに入ったままになっていた黄色いエンピツがタミーに話しかけてきた。



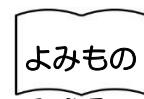
まほうどうぶつ 「クローバーと魔法動物 1 運のわるい女の子」

ケイリー・ジョージ／作 久保陽子／訳
スカイエマ／絵 童心社 932シヨ

運のわるい女の子、クローバー。何をやってもツイてない。運気をあげようといろいろためしてみたのに、あたらしいペットのカナリアまでにげる始末。

さとおや など
だけど、動物を里親に

ひきあわせるボランティア はっけん のそ
を発見！いつだって望みを すてないクローバーは…。



ひむろ ひみつきち 「氷室のなぞと秘密基地」

中谷詩子／作 よこやまようへい／絵 国土社
931ナカ

はるま なつやす じゅうけんきゅう なや
春馬が夏休みの自由研究に悩んで いるとき、近くの宝山に、むかし天然 ごおり ほぞん ひむろあと のこ
氷を保存した氷室跡が残っていると きともだち てっぺい いふたり
聞く。友達の哲平と宝山に行くが、二人 しんこうけいめ きょうみ
は信じられない光景を目にする。興味 も
を持った二人は氷室を ふくげん あなほ
復元しようと穴掘り はじ
から始めるが、それが たいへん
大変なことになる。





しらべもの

「手話でつながる世界のあいさつ」

全国手話通訳問題研究会／作 見杉宗則／絵
クリエイツかもがわ [37]

世界にはたくさんのことばがあって、それたちがっているように、手話もその国々によってすこしずつひょうげんのしかたがちがっているんだ。「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」…。さいしょのあいさつをしつけて、世界のおともだちとつながろう。

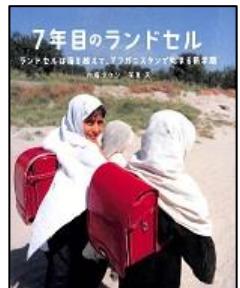


しらべもの

「7年目のランドセル」

「ランドセルは海を越えて、アフガニスタンで始まる新学期」
内堀タケシ／写真・文 国土社 [22]

まだ日常の中に戦争が残るアフガニスタンの子供たちに、日本で6年間の役目を終えたランドセルが贈られた。タルワサちゃんが笑顔で受け取ったのはピンクのランドセル。「ほら、勉強するとき、ヒザの前に置けば、つくえのかわりにもなるんだよ」



しらべもの

「バウムクーヘンとヒロシマ
ドイツ人捕虜ユーハイムの物語」

巣山ひろみ／著 銀杏早苗／絵 くもん出版 [39]

颯太はバウムクーヘン作り体験にひかれて、ピースキャンプに参加する。そこで日本にバウムクーヘンを伝えたユーハイムが、戦争のために日本に連れてこられたこと、彼のバウムクーヘンが売られた物産陳列館が、後に原爆ドームとよばれるようになったことを知る。



しらべもの

「ハクトウワシ」

前川貴行／写真・文 新日本出版社

[488]

白くかがやく頭と、とがった黄色いくちばし。アメリカ先住民族にとって神の使いだったハクトウワシは、人間によって一時は絶滅の危機にあった。流氷が押しさせる北大西洋の島のかけの上で、ハクトウワシのつがいは交互に卵を温め、子育てをする。

